平成 24 年８月 18 日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社 マ ル マ エ
代表者名　代表取締役社長　前田　俊一
（ コード番号：6264　東証マザーズ ）
問合せ先　取締役管理部長　藤山　敏久
（ TEL. 0996-64-2900 ）

平成 24 年７月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 24 年７月度月次受注残高情報を開示いたします。

記

１．月次受注残高　　（百万円未満切捨て）

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
ＦＰＤ分野	44	42.0%	7.7%	△76.3%
半導体分野	36	34.2%	36.5%	27.2%
太陽電池分野	0	0.4%	―	―
その他	24	23.4%	△29.3%	―
合計	106	100.0%	3.0%	△51.1%

２．月次受注残高の推移　　（百万円未満切捨て）

区分	H23.8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	H24.1 月
ＦＰＤ分野	159	168	113	71	51	44
半導体分野	34	21	46	35	35	31
太陽電池分野	0	0	1	0	0	0
その他	2	0	1	1	5	48
合計	196	191	162	109	92	123

区分	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
ＦＰＤ分野	16	26	41	53	41	44
半導体分野	39	34	26	31	26	36
太陽電池分野	0	0	0	0	0	0
その他	51	48	48	34	35	24
合計	107	109	116	119	103	106

３．月次受注残高の概況

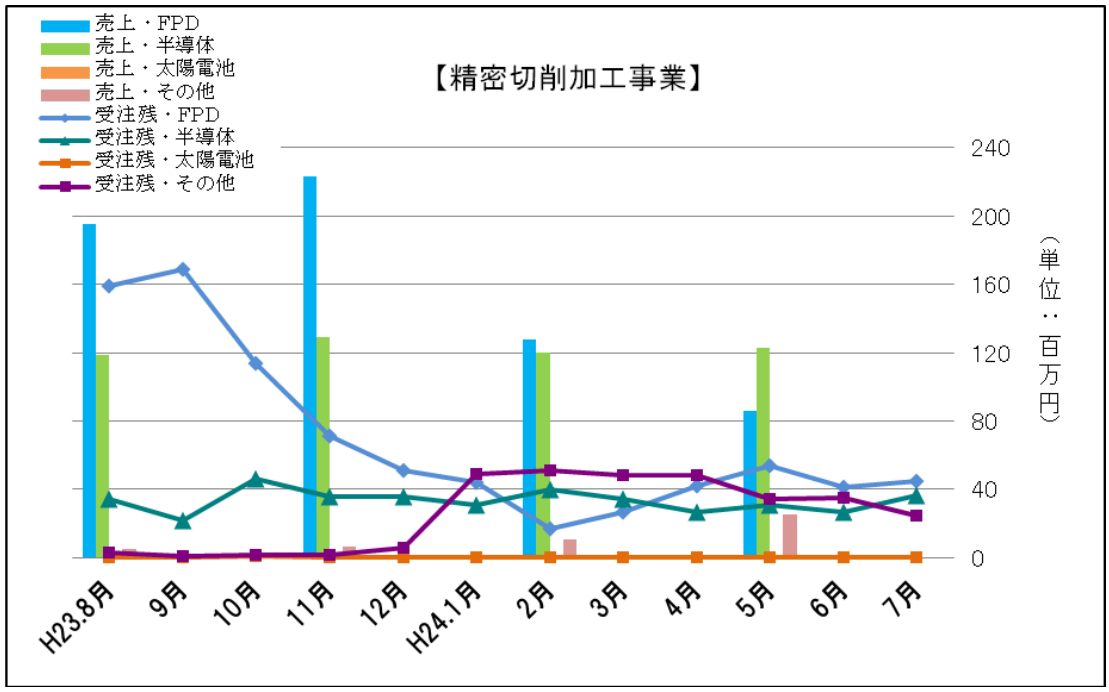
平成 24 年７月末の受注残高は、ＦＰＤ分野において受注に若干回復傾向が見られるものの、依然低調な推移であることから、対前月増減率で 7.7%増、対前年同月増減率では 76.3%減の 44 百万円となりました。また、半導体分野においては、安定した推移で対前月増減率 36.5%増、対前年同月増減率 27.2%増の 36 百万円となりました。一方、その他分野においては原子力案件の出荷検収が進んだことから、対前月増減率 29.3%減の 24 百万円となりました。なお、太陽電池分野の受注においては、大きな動きはありませんでした。これらの結果、平成 24 年７月末の受注残高は、対前月増減率 3.0%増、対前年同月増減率 51.1%減の 106 百万円となりました。

今後の受注見通しといたしまして、ＦＰＤ分野においては、スマートフォン向けの中小型設備投資が再拡大し始める見通しを持っております。半導体分野においては、市況の低迷が長引く見通しですが、当社においては新規受注品種の拡大で微増傾向が続くと見込んでおります。太陽電池分野においては、停滞が続く見通しです。また、その他分野では、原子力関連他、幅広く受注活動を行なっておりますが、他分野の回復に伴う生産余力低下で低水準の推移と想定しております。

全般的には、市場環境の停滞が続いておりますが、当社では社内生産力を試作品と短納期品に活用し、新規部品の受注拡大を図っております。また、社内生産力でまかなえない受注の拡大には協力企業との取引拡大で対応するなど、市場環境変動に影響されにくい構造改革に取り組んでおります。

以　　上

(参考：分野別　過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短いか当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。